







高等学校	地理歴史・世界史探究	2年生
『「歴史的事象のつながり」について思考・判断・表現を促す 世界史探究の授業づくり』		
○思考・判断・表現を高めるための工夫・手立て 「歴史的事象をつなげること」に着目した授業です。		
○歴史的事象をつなげるとは 歴史の展開に関わる出来事について、他の時期や年代、現代と比べてみる。 →類似点や相違点に気付くこと。		
○具体的には、以下の流れ(パッケージ)を繰り返すことを、ポイントとしています。		
		
STEP1 比較資料の 解釈ワーク	STEP2 一斉授業	STEP3 まとめワーク
		
パッケージ化することで、考える力が高まる!		
○STEP1とSTEP3については、ワークシートの一部を記載します。 →古代インドの宗教に関する授業です。		

【STEP1 (比較資料の解釈ワーク)】



○共通点

- ・川の近くに人がいる。
- ・水に触れている。

○相違点

- ・左の画像はにぎやかで、右の画像は控えめな感じ。
- ・左の画像では体ごと水に浸かっている。

○相手の意見で興味深いと思ったところ

- ・どちらも宗教的である。
- ・右と左で服装がかなり違う。

授業内容について関心を高める。



授業の見通し、予想を立てる。



※ワークシートの記述は、生徒の実際の記述を記載しています。

【STEP3 (まとめワーク)】

①重要だと考えたもの
バラモン教

②理由

現在のヒन्दウー教に繋がる宗教であるため、大切だと考えた。

③相手の意見で興味深いと思ったところ

ジャイナ教は無所有。
仏教は解脱を目指す。

④まとめ
(相手の意見を必ず入れよう!)

仏教は、煩惱を捨て、解脱を図っている。ジャイナ教は、不殺生、無所有。
バラモン教は、民間信仰から信仰の幅を広げた。

生徒自身が追究したいテーマを振り返る。



対話を通し、深めた内容を練り直す。

※ワークシートの記述は、生徒の実際の記述を記載しています。

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告 (R7) をご覧ください。